

Pre 医療専攻だより

新潟県立小出高等学校 1 学年 Vol. 4



2月27日(月)に医療専攻を希望する1年生対象に医療講演会を行いました。今回の講演では、新潟県立看護大学 関 睦美先生より、「地域の中で働く看護職」と題し、看護職の概要と、看護職の様々な活躍の場について、貴重なお話を伺うことができました。以下に講演の内容をまとめます。



看護職・看護とは



看護職とは、「保健師・助産師・看護師」の3つを指します。では、看護とは一体どのような仕事でしょうか。参加した生徒たちからは、「医師のサポートをしたり、患者さんに寄り添う仕事」「医師のお手伝いをしたり、患者さんとのコミュニケーションを取る仕事」と言ったような意見が出てきました。

ナイチンゲールの言葉を引用すると、「看護とは、**その人の生きる力（生命力）に力を貸すこと**」「**患者の生命力の消耗を最小にするようこまごまとしたことを整えること**」と表現することができます。看護の仕事は、患者が今、何で生命力の消耗をきたしているのかを見抜く力が必要になります。



看護職になるために

看護職を目指す全ての人が、看護師国家試験を受験する必要があります。看護師になるための学習は基礎科目・専門基礎科目・専門科目に分かれており、基礎科目では広い教養を、専門基礎科目では医療技術専門職としての基礎を学びます。さらに、専門科目では実践能力を身につけます。専門科目それぞれに実習があり、**全ての実習を1年ほどかけて行います。**

また、看護師国家試験を受けるには、**3年以上、大学・短大・専門学校等で学ぶ必要があります。**国家試験の合格率は近年90%を超えていますが、問題の中には必修問題があり、**必修問題で8割以上得点できないと、他の科目で高得点でも不合格になってしまいます。**試験内容は多岐にわたりますが、必死になって勉強すれば、必ず合格できます。

地域の中で活躍する看護職

看護職の活躍の場は、病院にとどまりません。**老人ホームであったり、訪問看護ステーションであったり、在宅介護支援センター、自治体の健康福祉センター、地域の保健所、学校や企業など、数々の場で人々を支えています。**病院看護と、在宅看護などの地域の看護職を比較すると、**地域の看護職は、様々な年代、様々な健康レベルの方々を対象に、療養者の看護、医療的ケアを行います。**



さらに、**家族などの介護者の相談に乗ったり、地域住民の方々の健康支援を行ったり**と、幅広い活躍の場があります。また、地域の幅広い方々の健康をサポートする上では、お医者さん、ケアマネジャー、訪問介護、通所リハビリなど、**他職種との連携が欠かせません**。看護職だけで仕事は完結することはなく、多くの職種とコミュニケーションをとることが必要です。

看護職を目指す皆さんへ

看護職を目指す上で大切なことのひとつは、「**自分の意思で『看護師になりたい』と決意すること**」です。看護師の資格を得るまではとてもハードです。誰かに勧められて、看護師を目指すことは悪いことではありません。しかし、最終的に自分自身で決断した進路でなければ、進学先の勉強や実習などで辛いときに乗り越えられないこともあります。なんとか看護職の道に進んだ後も、命の灯火が消える瞬間に遭遇したり、体力的にも、精神的にもきつことが続いたりすることがあります。こうした瞬間を乗り越えるには、「自分の意思」が大きな支えになります。



看護職を目指す上で、**高校時代に力を入れておくと良いと思うことは「毎日の学習習慣を身につける」「暗記学習だけでなく、自分で考えて話す」「じっくりと理解し合える友人関係をつくる」**などです。また、看護職は療養者などに対し、**共感する心が大切**になりますが、いきなり看護職になったからといってそうした力がつく訳ではありません。共感する心を育むために、「**漫画や映画などを見て、その人の立場になって考える**」といったことも有効です。まずは小説やドラマなどの主人公になってその人の気持ちになったり、イメージを膨らませたりしてみると、共感する力が身につくかもしれません。

Q&A（多くの質問が出たため、いくつか抜粋しています）

Q：看護師は夜勤が多いイメージがありますが、どれくらいの頻度で行うものですか？

一月に5回くらいの頻度です。病院によって様々ですが、私が以前勤めていたところは2交代制でした。夜勤が明けると翌日と、翌々日はお休みがもらえ、夜勤明けは2日間休みが入るので、大変な分休日の保障もしっかりあります。

Q：病院勤務から在宅看護へと、働く場所が変わって大変だったことは何ですか？

一病院では組織の中でのルールがあり、それに従って働くことが求められますが、在宅看護はそこに住んでいる人に合わせて医療・看護を行うという違いがあります。柔軟に物事を考え、地域の人々の暮らしに合わせる大切が大切です。



Q：看護職として働いていて、辛いことがあった時はどうやって乗り越えれば良い？

一仕事をしていればミスをしてしまうことは誰にでもあります。私もかつては、辛くて一人トイレで泣いたこともありましたが、ただ、その後に先輩ナースに相談して励ましてもらいました。自分ひとりでどうにかしようとせず、先輩に相談することが大切だと思います。

